

平成22年10月1日
在デトロイト日本国総領事館

鹿との衝突事故に対する注意

秋から冬にかけて、鹿との衝突事故が多発します。狩猟シーズン前である10月と11月は鹿の個体数もピークにあり特に発生が多くなっています。2009年中のミシガン州・オハイオ州における鹿との衝突事故件数は次のとおりです。

2009年		ミシガン州	オハイオ州
州全体	件数	61,486件	25,146件
	死者	10人	3人
	負傷者	1,571人	1,137人

危険な時間帯は

- 全体の20%が夜明け前後
- 全体の50%が午後5時から深夜にかけて

です。

警察によれば、「鹿との衝突を避けようとして樹木や他の車に衝突し、死傷の結果が生じている。動物と衝突することが、時には最も安全な選択になる場合もある。」とのことであり、鹿との衝突事故を回避するために以下のことが有効です。

① 心構え

- 注意力・集中力を維持する。
- どのような衝突に対してもシートベルトが最良の方法である。
- 特に夜明け時と日暮れ時に注意する。
- 対向車がなければ、ハイビームにすると鹿の目が光って発見しやすくなる。
- 特に2車線の道路において、鹿横断や速度制限の標識に注意する。
- 鹿は群れをなす動物であり、よく1列になって移動するので、1頭の鹿を見つけたら、しばらく待つ。

② 衝突が避けられないとき

- 走行中の道路・車線からはみ出ない。
- 同乗者に警告する
- 両手でハンドルを握る。
- しっかりとブレーキを踏む。
- 車をきちんと制御して停止させる。